

布 施

F U S E
ふ、せ

布 施 の 規 模

1 8 2 人

1 自治会

3 集 落

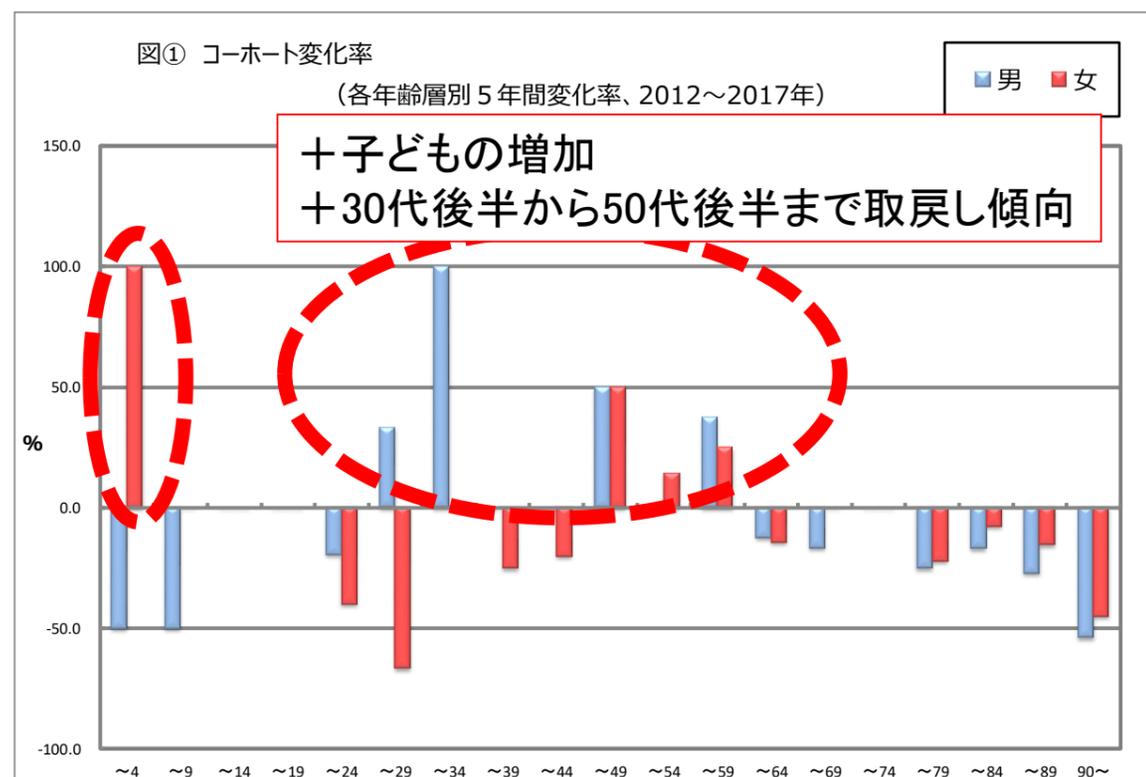
(平成29年4月30日現在 住民基本台帳による)

■ 定住の目標数値

3 0 年後に現在の 9 割以上の人口を維持するには、新たに、

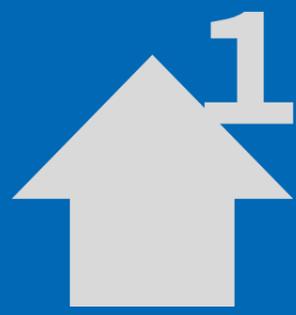
- ① 3 0 歳代前半夫婦が 4 歳以下の子ども連れ
- ② 2 0 歳代前半夫婦
- ③ 6 0 歳代前半夫婦 (定年退職者)

各 0.3 組 必要。



※(一社)持続可能な地域社会総合研究所 調べ

布施の好きなところ 



1 人が温かい



5 助け合いの心がある



2 高齢者が元気



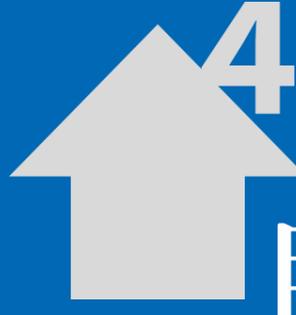
6 色々な技を持った
匠がたくさんいる



3 人と人との
つながりが強い



7 お米が美味しい



4 自然が豊か・景勝地がたくさんある

布 施 の 組 織

～地区全体の動き～

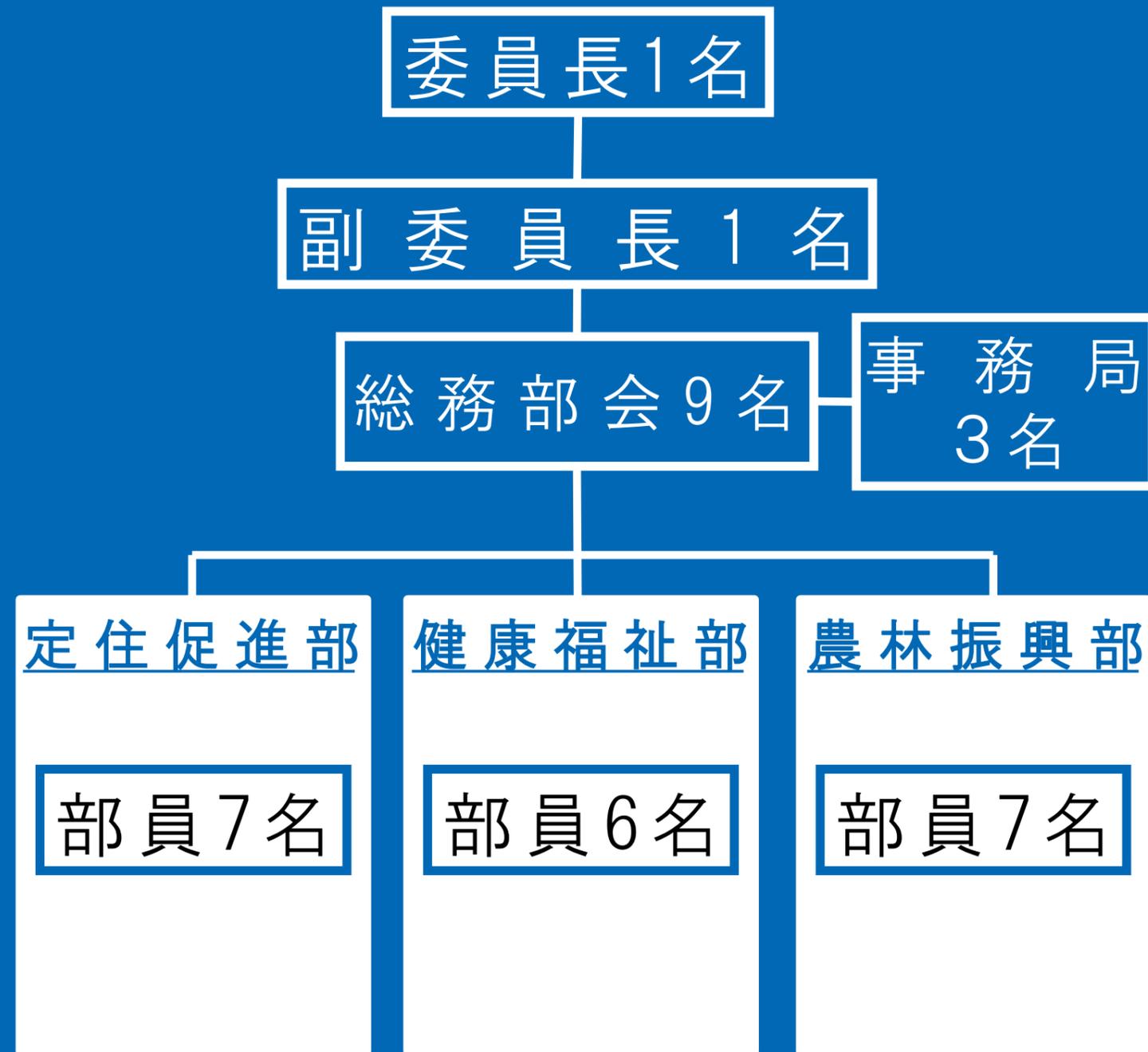
- 銭宝地区夢づくりプランを策定 [H16年度]
(銭宝自治会)
- 邑南町コミュニティ再生事業 [H24～H28]
(元気はつらつプロジェクト委員会)
- 邑南町地区別戦略実現事業 [H28～H31]
(銭宝地区別戦略実行委員会)
- 都市交流推進拠点整備事業 [H29]

～地区別戦略の動き～

- H28年度
 - 10月 ○ 食のボランティア「銭宝まんま」結成 (21名)
 - 11月 →いきいきサロン開始
- H29年度
 - 7月 ○ 銭宝ビアガーデン(参加者50名)
 - 出身者便り「銭宝地区別つうしん」発行開始
(対象141名 年2回)
 - 8月 ○ 島根大学 ゼミ合宿受け入れ(参加者12名)
 - 若者有志グループ「the ゼニーズ」結成 (11名)
 - 9月 ○ アラマ・ジュバテファミリーコンサート
(参加者約90名)
 - 銭宝の農業を考える会
 - 10月 ○ 間六口漫談講演会(参加者約90名)
 - 農業用ドローンの勉強会(参加者25名)
 - 12月 ○ 田屋 お披露目カフェ(参加者42名)

- 農林振興部 (事業)
- 定住促進部 (事業)
- 健康福祉部 (事業)

銭宝地区別戦略実行委員会





全4年間のうち、2年を終えて、

成果

- ・「いきいきサロン」を約1カ月に1回のペースで開催。
- ・「地区別つうしん」「Facebook（フォロワー84人）」「webページ」などの情報発信やイベント事業などで地域を知って応援してくれる人が増えた。
- ・銭宝ビアガーデンを通じて、銭宝の農業を考える会と農業用ドローンの勉強会が動き出した。
- ・田屋の整備が進み、地区別戦略の動きと合わせて都市交流事業に繋がる流れが見えてきた。

2017
年度
12月

交流拠点 & 加工場 ^た ^や 田 屋

交流拠点兼加工場として今春プレオープン予定。
縁側カフェや季節のお食事会、体験ワークショップなど地域を訪れてくれた方の体験とおもてなしの場、また地域の人が集まる交流の場として、地域の新たな拠点を目指している。



事業データ

■ 事業費

都市交流

5000千円

地区別戦略

1714千円

■ 目標利用人数

1320人/年

2016
年度
10月

食のボランティア

銭宝まんま

地域内での行事の時に調理を担当する。
主な活動として「いきいきサロン」における食事提供
「いきいきサロン」は健康福祉部・社協銭宝ブロックと連携し開催

提供人数

321人



事業データ

■食事提供人数

いきいきサロン
192人

その他
129人

■スタッフ人数

21人

2017
年度
7月

銭宝ビアガーデン

農林振興部が中心になり、農業用ドローンの情報提供をきっかけとして若い世代から高齢者まで約50人が地域の農業の未来について一緒にお酒を飲みながら語り合った。
その後、銭宝の農業を考える会へつながった。

参加人数
50人





残りの2年に向けて、

これから

現在改修工事中である、交流拠点兼加工場「田屋」の活用

- ① 地域住民・地区外の人を対象にした交流イベントを開催し、銭宝を訪れる人を増やすとともに、移住を考える人に、空き家情報を提供し、Uターン者確保を目指す。
- ②加工場の活用促進を図り、地元による6次産業の開発を目指す。

(事務局の想い)

- ・ 地域に合った団体の形（法人化含む）を、残り2年の間に探り、地域で継続していける体制を作っていきたい。